

(科目名) 学校論ゼミナール		部局の学部専門科目として提供	
(所属部局) 教育学研究科	(職名) 准教授	(氏名) 西岡加名恵	(開講期) 前期 (授業形態) 課題演習 (対象回生) 2・4 回生 (対象学生) 全学生
(授業の概要・目的)			
<p>グローバル化や雇用の流動化などが進む中、現代の学校においては、生徒たちに、問題解決力、コミュニケーション力、自律的な学習力などの 21 世紀型のキー・コンピテンシーを育成することが求められている。生徒たちにキー・コンピテンシーを育成する上で有効な方法として注目されるのが、ポートフォリオ評価法である。</p> <p>本科目（「学校論ゼミナール」）では、現実の学校においてポートフォリオ評価法を実践する過程に参加することを通して、ポートフォリオの活用法、さらには学校における実践作りへの貢献の仕方について学ぶ。</p>			
(授業計画と内容)			
<p>ポートフォリオ評価法においては、生徒たちが幅広い学習履歴を蓄積・編集し、それを踏まえた対話（ポートフォリオ検討会）を行うことを通して、的確に自己評価する力を身につけ、ひいては、より効果的に学習を進める力を身につけていく。このようなポートフォリオ評価法は、教師による教育評価にも生かされ、学校のカリキュラム改善にもつながることが期待される。</p> <p>本授業は、下記の活動を行う予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ポートフォリオ評価法やキー・コンピテンシーに関する基本的な知識を習得する。 ②連携・協働する学校におけるこれまでの実践の経緯について理解する。 ③連携・協働する学校におけるポートフォリオ検討会へ参加する。 ④ポートフォリオ検討会についての振り返りと追加調査を踏まえ、今後への提言をまとめる。 ⑤連携・協働する学校へフィードバックを行う。 			
(成績評価の方法・基準)			
授業において与える課題への取り組み状況、及びまとめのレポートによって評価する。			
(履修要件)			
入門的なゼミなので特に予備知識は必要ないが、課題への積極的な取り組みを期待する。			
(教科書)			
西岡加名恵『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』図書文化、2003 年			
(参考書)			
授業中に、適宜、紹介する。			